

令和4年度事業報告書

第1 基本財産

令和4年度末基本財産	3,940,161千円	
		}
運営基金	640,034千円	
助成基金	3,300,127千円	
再掲 保健福祉基金：2,300,000千円	子ども希望基金：1,000,127千円	

※ 金額は、取得金額（基本財産元本）

第2 庶務の事項

1 役員・評議員構成

（令和5年3月31日現在,敬称略、五十音順）

役 職	氏 名	備 考
理 事 長 理 事	小 向 正 悟	公益財団法人いきいき岩手支援財団理事長
	木 村 宗 孝	一般社団法人岩手県医師会副会長
	坂 口 繁 治	一般社団法人岩手県社会福祉士会長
	菅 原 和 彦	株式会社岩手日報社常勤監査役
	高 橋 進	社会福祉法人岩手県社会福祉協議会専務理事
	平 藤 淳	公益財団法人岩手県体育協会副会長兼理事長
	藤 沢 清 美	一般社団法人岩手県芸術文化協会副会長
	松 村 達	岩手県保健福祉部副部長
監 事	熊 谷 俊 巳	元岩手県会計管理者兼出納局長
	三 河 春 彦	三河春彦税理士事務所所長
評 議 員	瀬 川 浩 昭	岩手県中小企業団体中央会専務理事
	相 馬 一 二 三	公益社団法人岩手県看護協会会長
	高 橋 和 佳 子	特定非営利活動法人参画プランニング・いわて理事
	触 沢 誉	葛巻町健康福祉課長
	米 田 ハ ツ エ	岩手県民生児童委員協議会副会長
	宮 寺 良 光	岩手県立大学社会福祉学部准教授
	村 上 淳	盛岡市保健福祉部長
	村 田 東 助	一般財団法人岩手県老人クラブ連合会会長

2 理事会の開催状況

(1) 第 45 回理事会の開催及び決議の省略（定款第 36 条第 2 項）

- ① 理事会決議のあったものとみなされる事項
 - ア 第 39 回評議員会の決議の省略について承認するもの
 - イ 第 39 回評議員会の決議事項
 - 議案第 1 号 理事の補欠選任について
 - 議案第 2 号 決議のあったとみなす日
- ② 理事会決議のあったものとみなす事項の提案者 理事長 小向正悟
- ③ 理事会決議のあったものとみなす日：令和 4 年 4 月 28 日
- ④ みなし決議があった旨の理事会議事録作成者 理事長 小向正悟

(2) 第 46 回理事会の開催及び決議の省略（定款第 36 条第 2 項）

- ① 理事会決議のあったものとみなされる事項
 - ア 第 40 回評議員会の決議の省略について承認するもの
 - イ 第 40 回評議員会の決議事項
 - 議案第 1 号 評議員の補欠選任について
 - 議案第 2 号 決議のあったとみなす日
- ② 理事会決議のあったものとみなす事項の提案者 理事長 小向正悟
- ③ 理事会決議のあったものとみなす日：令和 4 年 4 月 28 日
- ④ みなし決議があった旨の理事会議事録作成者 理事長 小向正悟

(3) 第 47 回理事会

- ア 開催日：令和 4 年 5 月 26 日(木)
- イ 開催場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室
- ウ 議 事
 - 議案第 1 号 令和 3 年度事業報告及び収支決算について
 - 議案第 2 号 第 41 回評議員会の開催日程について

(4) 第 48 回理事会

- ア 開催日：令和 4 年 6 月 20 日(月)
- イ 開催場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室
- ウ 議 事
 - 議案第 1 号 理事長（代表理事）の選定について
 - 議案第 2 号 非業務執行理事等の賠償責任限定に関する契約の締結について

(5) 第 49 回理事会の開催及び決議の省略（定款第 36 条第 2 項）

- ① 理事会決議のあったものとみなされる事項
 - ア 第 42 回評議員会の決議の省略について承認するもの
 - イ 第 42 回評議員会の決議事項
 - 議案第 1 号 評議員の補欠選任について
 - 議案第 2 号 決議のあったとみなす日
- ② 理事会決議のあったものとみなす事項の提案者 理事長 小向正悟
- ③ 理事会決議のあったものとみなす日：令和 4 年 7 月 8 日
- ④ みなし決議があった旨の理事会議事録作成者 理事長 小向正悟

(6) 第 50 回理事会の開催及び決議の省略（定款第 36 条第 2 項）

- ① 理事会決議のあったものとみなされる事項
 - ア 第 43 回評議員会の決議の省略について承認するもの
 - イ 第 43 回評議員会の決議事項
 - 議案第 1 号 理事の補欠選任について
 - 議案第 2 号 決議のあったとみなす日
- ② 理事会決議のあったものとみなす事項の提案者 理事長 小向正悟
- ③ 理事会決議のあったものとみなす日：令和 4 年 7 月 25 日
- ④ みなし決議があった旨の理事会議事録作成者 理事長 小向正悟

(7) 第 51 回理事会

- ア 開催日：令和 5 年 3 月 9 日（木）
- イ 開催場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室
- ウ 議 事
 - 議案第 1 号 令和 4 年度補正予算について
 - 議案第 2 号 令和 5 年度事業計画及び収支予算について
 - 議案第 3 号 令和 5 年度資産運用計画について
 - 議案第 4 号 県出資等法人に係る中期経営計画（令和 5 年度～令和 8 年度）の策定について
 - 議案第 5 号 事務局長の選任について
 - 議案第 6 号 第 44 回評議員会の開催日程について

3 評議員会の開催状況

(1) 第 39 回評議員会の開催及び決議の省略（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 194 条）

- ① 評議員会決議のあったものとみなされる事項
議案第 1 号 理事の補欠選任について
議案第 2 号 評議員会の決議のあったとみなす日
令和 4 年 5 月 13 日
- ② 決議のあったものとみなす事項の提案者 理事長 小向正悟
- ③ みなし決議があった旨の評議員会議事録作成者 理事長 小向正悟

(2) 第 40 回評議員会の開催及び決議の省略（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 194 条）

- ① 評議員会決議のあったものとみなされる事項
議案第 1 号 評議員の補欠選任について
議案第 2 号 評議員会の決議のあったとみなす日
令和 4 年 5 月 13 日
- ② 決議のあったものとみなす事項の提案者 理事長 小向正悟
- ③ みなし決議があった旨の評議員会議事録作成者 理事長 小向正悟

(3) 第 41 回評議員会

ア 開催日：令和 4 年 6 月 20 日(月)

イ 開催場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室

ウ 議 事

議案第 1 号 令和 3 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書、
財産目録の承認について

議案第 2 号 理事の選任について

(4) 第 42 回評議員会の開催及び決議の省略（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 194 条）

- ① 評議員会決議のあったものとみなされる事項
議案第 1 号 評議員の補欠選任について
議案第 2 号 評議員会の決議のあったとみなす日
令和 4 年 7 月 20 日
- ② 決議のあったものとみなす事項の提案者 理事長 小向正悟

③ みなし決議があった旨の評議員会議事録作成者 理事長 小向正悟

(5) 第 43 回評議員会の開催及び決議の省略（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 194 条）

① 評議員会決議のあったものとみなされる事項

議案第 1 号 理事の補欠選任について

議案第 2 号 評議員会の決議のあったとみなす日

令和 4 年 8 月 5 日

② 決議のあったものとみなす事項の提案者 理事長 小向正悟

③ みなし決議があった旨の評議員会議事録作成者 理事長 小向正悟

(6) 第 44 回評議員会

ア 開催日：令和 5 年 3 月 24 日（金）

イ 開催場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室

ウ 議 事

議案第 1 号 令和 4 年度補正予算について

議案第 2 号 令和 5 年度事業計画及び収支予算について

議案第 3 号 令和 5 年度資産運用計画について

議案第 4 号 理事の選任について

4 監事監査

- ・ 実施日：令和 4 年 5 月 16 日（月）
- ・ 実施場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室
- ・ 監査事項：令和 3 年度事業実施状況及び収支決算について

5 監事による会計指導

(1) 令和 3 年度下半期会計に関する指導

- ・ 実施：令和 4 年 4 月 22 日（金）
- ・ 実施場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室
- ・ 調査事項：令和 3 年度下半期の会計状況の確認及び指導

(2) 令和 4 年度上半期会計に関する指導

- ・ 実施：令和 4 年 10 月 19 日（水）
- ・ 実施場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室

・調査事項：令和4年度上半期の会計状況の確認及び指導

6 全国明るい長寿社会づくり推進機構関係

- (1) 令和4年度第1回全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会
開催状況：令和4年7月4日（集合とZoomのハイブリッド型開催、Zoom参加）
内 容：令和3年度事業報告及び決算報告及び令和4年度事業について

- (2) 令和4年度第2回全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会
開催状況：令和5年2月28日（集合とZoomのハイブリッド型開催、Zoom参加）
内 容：令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

- (3) 北海道・東北ブロック明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会（担当：青森県）
開催状況：令和5年1月（書面開催）
内 容：全推連の今後の取組みについて、令和5年度予算策定に向けて、他情報交換

第3 実施事業

※（ ）内数値は令和3年度実績

I 高齢者等健康生きがいがづくり支援・福祉サービス推進事業(公益事業)

[高齢者等が健康で生き生きと暮らすことができる地域社会の形成及び保健・医療・福祉サービス等の質の向上に寄与する事業]

1 少子高齢社会に対応する民間・地域等の取組み支援(自主事業)

(1) 「いわて保健福祉基金」助成事業(継続)

保健福祉又は地域福祉の増進を図るため、民間団体等が実施する先駆的、先導的な事業や高齢者の社会貢献活動に対して助成した。

ア 一般枠分

23事業 24,311千円 (30事業 20,135千円)

① 在宅保健福祉普及向上事業

5事業 7,347千円 (5事業 3,520千円)

② 健康、生きがいがづくり推進事業

11事業 10,218千円 (16事業 10,286千円)

③ ボランティア活動活性化事業

0事業 0円 (1事業 1,350千円)

④ その他の事業

7事業 6,746千円 (8事業 4,979千円)

イ 特別枠分(ご近所支え合い活動助成分)

16事業 2,177千円 (20事業 2,203千円)

(2) 「いわて子ども希望基金」助成等事業(継続)

子育て支援や子どもの健全育成など、少子化対策の推進を図るため、民間団体等が実施する先駆的、先導的な事業に対して助成した。

① 地域子育て活動支援事業

30事業 9,836千円 (25事業 7,230千円)

② i・出会い応援事業

9事業 2,373千円 (10事業 2,947千円)

③ 子育てにやさしい職場環境づくり助成事業

33団体 8,352千円 (33団体 8,566千円)

④ 経営者等セミナー開催事業

「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」への理解やその取り組み等を推進するため、企業の経営者、労務担当者、一般を対象に、一般社団法人りとりと代表理事 兼子佳恵氏による講演、株式会社プラザ企画 プラザイン水沢の佐々木美幸氏、(公財)いきいき岩手支援財団 藤尾美奈をパネリストとして、岩手県立大学准教授 庄司知恵子氏コーディネートのもと、子育てと仕事の両立についてディスカッションを行った。

若者や女性の人材育成についての講演会や、企業側が社員のライフステージに合わせて働き方を提案する先進的な取組等が紹介された。

12月16日 プラザおでって おでってホール 参加者 62人(82人)

※一般来場及びZoom ウェビナーによるハイブリッドセミナーを開催

2 少子高齢社会に関する調査研究及び普及啓発（自主事業）

(1) 調査研究事業（継続）

① 「コロナ禍における子育てに関する援助要請行動についての実態調査Ⅱ」

0～15歳の子どもを持つ保護者の82.6%が子育てにおいて負担や悩みがあると報告されており、核家族化が進む現代において、保護者の育児不安や育児ストレスの軽減が急務となっている。このことから、子育てをしている保護者の援助要請行動の実態を明らかにするとともに、各市町村において乳幼児健診等に従事する保健師対象に、保護者の相談内容に関するアンケート調査を行った。

本調査は岩手県立大学と連携し、コロナ禍による変化を把握・分析することで、本県における子育て支援の環境整備等につなげることを目的に実施した。

事業実施期間：令和4年7月～令和5年3月

② 「高齢世代等の生活状況と生きがいに関する意識調査」

日本人の平均寿命が全般的に延びる状況にある一方、中高年世代の世帯構成は、おおよそ50歳以上の男性の4人に1人、女性の6人に1人は独身と言われ、今後、一人暮らしの高齢者の増加が懸念される。

社会経済情勢が目まぐるしく変化し、中高年世代が生きがいとして求めるものも時代と共に変化していると思われることから、今後の高齢世代に対する施策を検討する上で参考となるよう中高年世代の生活状況と生きがいの関連性について調査を実施した。

事業実施期間：令和4年8月～令和5年3月

(2) 普及啓発事業（継続）

情報誌の発行、インターネット及び広報媒体の活用により、少子高齢社会に対する

県民の理解と関心を深めるための啓発活動を行った。

ア 情報誌「いきいきイーハトーブ」の発行（ホームページ掲載）

4回：6月（第37号）、10月（第38号）、12月（第39号）、3月（第40号）

イ ホームページの随時更新による最新情報提供

ホームページのアクセス数： 76,569件（60,736件）

3 高齢者等の健康の保持増進と生きがいの高揚推進（県補助事業）

(1) 明るい長寿社会づくり推進事業（継続）

高齢者の健康の保持と生きがいの高揚を図るため、岩手県長寿社会健康と福祉のまつりの実施や第34回全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手派遣等を行った。

ア 第34回岩手県長寿社会健康と福祉のまつり事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定していた各大会のうち、計2種目が中止となった。

種 目 区 分	開 催 期 日	開 催 場 所 等	参 加 者 数
県民長寿文化祭	作品展	R4.6.3(金) ～5(日)	盛岡市市民文化ホール(出展数130点) 394人 (426人)
	囲碁大会	R4.12.11(日)	岩手教育会館 65人 (54人)
	将棋大会	R4.7.3(日)	北上市総合福祉センター 70人 (65人)
	小計		529人 (545人)
県民長寿体育祭	スポーツ交流大会(8種目)	R4.6.6(月)～ R4.10.9(日) ※1種目(ソフトテニス)中止	盛岡市、花巻市、北上市 844人 (556人)
	ふれあいスポーツ交流大会(3種目)	R4.8.27(土)～ R4.9.18(日) ※1種目(グラウンドゴルフ)中止	盛岡市、北上市 331人 (43人)
	小計		1,175人 (599人)
合 計			1,704人 (1,144人)

イ 第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会参加推進事業

11月12日(土)から11月15日(火)まで神奈川県で開催された全国健康福祉祭(ねんりんピック)へ選手派遣等を行った。

総派遣者数 186人(選手・監督等180人、役員・事務局等6人)

派遣種目 25種目

○スポーツ交流大会(10種目)

卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、マラソン、弓道、剣道

○ふれあいスポーツ交流大会(12種目)

水泳、オリエンテーリング、ラグビーフットボール、サッカー、ソフトバレーボール、なぎなた、ウォークラリー、軟式野球、ターゲット・バードゴルフ、ダンススポーツ、スポーツウエルネス吹矢、サーフィン

○文化交流大会(3種目)

囲碁、将棋、健康マーじゃん

※俳句交流大会は、事前投句により選手団としての派遣は行わない。

大会の主な成績(入賞者/チーム)

○個人競技

出場種目	成績	選手名(居住地及び学校)
マラソン(3km・女・70歳未満)	2位	高橋紀子(奥州市)
マラソン(5km・男・70歳未満)	1位	佐々木建(奥州市)
マラソン(5km・女・70歳未満)	6位	志田光恵(大船渡市)
マラソン(10km・男・70歳未満)	1位	千田布美夫(奥州市)
水泳(25m・自由形・男・70~74歳)	1位	西川勝夫(盛岡市)
水泳(50m・自由形・男・70~74歳)	2位	
なぎなた(交歓試合)	優秀賞	高橋紀代美(一関市)
ダンススポーツ(ワルツ)	3位	山下和男、山下千佳子ペア (滝沢市)
ダンススポーツ(タンゴ)	3位	
囲碁	全勝賞	佐藤昌作(盛岡市)
囲碁	優秀賞	及川 聆(紫波町)
健康マーじゃん	優秀賞	東 忠男(盛岡市)
俳句(募集句・ジュニア部門)	優秀賞	鈴木綾乃(水沢高校)

○団体競技

出場種目	成績	チーム名
卓球	2位グループ・優秀賞	鬼っこ岩手
ゲートボール	優秀賞	けやき
ソフトバレーボール	3位グループ・優秀賞	サンライフ
サッカー	Iブロック・3位	岩手選抜60
ウォークラリー（ひまわりコース）	1位	イーハトーブ花巻

○美術展

部門（作品名）	表彰項目	氏名（居住地）
工芸（新からくさ文文庫）	（一財）長寿社会開発センター理事長賞	高橋幸雄（奥州市）
書（業平集より）	銅賞	藤原節子（花巻市）

4 高齢者等への総合的な支援

岩手県高齢者総合支援センター運営事業（継続、県委託事業）

（※当センターは県が平成21年度に設置し、当財団が運営を受託している。）

(1) 相談事業

① 一般相談

高齢者の生活全般に係る電話及び来所相談に支援相談員が対応した。

月曜日から金曜日の9時から17時まで実施 相談件数 1,907件（2,018件）

② 専門相談

弁護士、司法書士などにより専門性の高い法律、認知症などの相談を実施した。

毎月3回 相談件数 102件（118件）

③ 特別相談（シルバー110番特別相談デー）※専門相談のうち再掲

老人の日・老人週間に合わせ、弁護士、医師などによる特別相談を実施した。

9月17日（土） 相談件数 20件（26件）

④ 地域包括支援センターからの相談への支援

地域包括支援センター職員からの相談に社会福祉士、保健師、介護支援専門員が対応した。

相談件数 203件（187件）

(2) セミナー開催事業

① 認知症セミナー

※ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止

② 高齢者権利擁護セミナーの開催

高齢者の権利を守るために活用できる制度を学ぶとともに、一人ひとりが暮らしの中で出来ることを考える機会とするための普及啓発を行った。

11月7日（月） いわて県民情報交流センター小田島組☆ほ〜る 参加者 126人

(3) 認知症普及啓発事業

認知症の正しい知識と理解の普及啓発や認知症の人及び家族への支援を行った。

ア 認知症の本人及び家族向け電話相談

平成24年4月に設置した「いわて認知症の人と家族の電話相談」

(フリーダイヤル0120-300-340)の運営を認知症の人と家族の会に委託して実施した。

相談件数 117件 (116件)

イ 地域交流集会

認知症の人や家族等を対象とした「つどい」を県内10市町村10地区で開催した。

107回 参加者 1,143人 (92回 参加者 776人)

ウ 認知症サポーター事務局の運営

- ・ 認知症キャラバン・メイト養成研修 1回 修了者数 56人
(1回 修了者数 30人)
- ・ 認知症サポーター養成講座の実施 12回 受講者数 265人
(18回 受講者数 342人)
- ・ チームオレンジコーディネータ研修 1回 27人 (2回 44人)
- ・ 認知症サポーター事務局情報交換会の開催 1回 13人 (1回 16人)

5 高齢者を支援する者の資質の向上を図るための研修事業（継続、県委託事業）

(1) 地域包括支援センター等への支援研修

高齢者介護や相談等に必要となる専門知識・技術を習得するための研修を実施し、高齢者への総合的な支援を行った。

- ア 地域包括支援センター職員初任者研修 1回 61人 (1回 50人)
- イ 地域包括支援センター等の職員研修 (2回中止) 9回 497人 (10回 438人)
- ウ リハビリテーション専門職等連携研修 2回 100人 (2回 83人)
- エ 認知症・介護予防多職種連携研修 中止 (2回 99人)

(2) 権利擁護に関する研修

判断能力が十分でない高齢者の権利や財産を守る権利擁護に関する研修、事例検討会を広域振興局等と連携し実施した。 地域研修会 4回 176人 (4回 203人)

(3) 福祉用具・住宅改修に関する研修

要介護高齢者に適正な福祉用具の使用及び適切な住宅改修が図られるよう、福祉用具の使用及び住宅改修に関する知識、技術を習得するための研修を実施した。

福祉用具・住宅改修研修 4回 131人 (4回 145人)

(4) 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業 (未実施)

<介護ロボット推進プラットフォーム構築事業に替える>

(5) 介護ロボット導入支援事業 (未実施)

<介護ロボット推進プラットフォーム構築事業に替える>

(6) 介護ロボット推進プラットフォーム構築事業 (国委託事業)

介護ロボットの開発から導入活用までの総合的な相談を受け付ける窓口 (プラットフォーム) を設置し、介護ロボットの活用推進を図る。株式会社NTTデータ経営研究所から委託を受けて実施した。

- ① 相談窓口の設置 (ニーズ 36 件、シーズ 30 件)
- ② 介護ロボット体験展示 (13 点、509 人)
- ③ 介護ロボット試用貸出 16 回
- ④ 介護ロボット研修会の開催 3 回 61 人
- ⑤ 業務アドバイザーによる伴走支援 3 施設
- ⑥ 介護ロボット協議会の開催 1 回 19 人

(7) 認知症介護に関する研修事業

認知症介護サービスを提供する管理者や介護従事者等に対し、認知症介護の質の向上を図るための研修を実施した。 修了者数: 754 人 (1,093 人)

- ① 認知症対応型サービス事業開設者研修 1 回 7 人 (1 回 14 人)
- ② 認知症対応型サービス事業管理者研修 1 回 62 人 (2 回 66 人)
- ③ 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 1 回 34 人 (1 回 28 人)
- ④ 認知症介護実践者研修 3 回 258 人 (3 回 215 人)
- ⑤ 認知症介護実践リーダー研修 1 回 61 人 (1 回 66 人)
- ⑥ 認知症介護基礎研修 (e ラーニング) 332 人 (704 人)

(8) 身体拘束に関する研修事業

介護保険施設等の職員を対象とし、身体拘束廃止・虐待防止に向けた啓発を図るための研修を実施した。

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| ① 権利擁護推進員養成研修 | 1回 29人 (1回 27人) |
| 身体拘束廃止等の取り組みの指導的立場の職員を対象に実施 | |
| ② 権利擁護看護実務者研修 | 1回 32人 (1回 29人) |
| 医療的な観点から身体拘束廃止等に取り組む職員を対象に実施 | |

(9) 地域づくりによる介護予防推進支援事業

市町村支援体制の整備に向けた普及啓発及び地域づくりアドバイザー派遣等を実施した。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ① 介護予防事業情報交換会 | 2回 (2回) |
| ② 情報収集及び情報提供 | 29回 (18回) |
| ③ 地域づくりアドバイザー会議の開催 | 3回 (3回) |
| ④ 地域づくりアドバイザー派遣等 | 23市町村 63回 (18市町村 48回) |

(10) 地域包括ケアシステム基盤確立（構築促進）事業

市町村の地域包括ケアシステム構築の推進を支援するため、必要な人材の養成を図るとともに、関係者間の情報交換や専門的支援を実施した。

① 認知症施策推進事業

認知症地域支援推進員の養成と資質向上を図るとともに、関係者の連携やネットワーク構築を図るための研修会及び連絡会を開催した。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ア 認知症地域支援推進員養成研修会 | 1回 30人 (1回 32人) |
| イ 認知症地域支援推進員連絡会 | 1回 31人 (1回 22人) |
| ウ 認知症地域支援研修会 | 1回 54人 (-回 -人) |
| エ 認知症ケア向上支援連絡会 | 1回 30人 (-回 -人) |

② 生活支援体制整備事業

市町村に配置される生活支援コーディネーターの円滑な活動を支援するため、研修会及び連絡会を開催した。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| ア 生活支援コーディネーター養成研修会 | 1回 36人 (1回 45人) |
| イ 生活支援コーディネーター連絡会 | 1回 41人 (1回 56人) |
| ウ 生活支援コーディネーター現地研修会 | 2回 54人 (3回 53人) |
| エ 生活支援体制運営研修会 | 1回 28人 (1回 19人) |
| オ 生活支援体制向上支援研修会 | 1回 62人 (-回 -人) |

③ 介護予防支援体制整備事業

介護予防事業へのリハビリテーション専門職の参画を推進するため、研修会及び連絡会を開催した。

ア	リハビリテーション専門職介護予防従事者研修会	1回	35人	(1回	65人)
イ	リハビリテーション専門職介護予防従事者多職種連携研修会	1回	28人	(1回	37人)
ウ	リハビリテーション専門職介護予防従事者連絡会	1回	25人	(1回	39人)

④ 地域包括ケアシステム構築促進のためのアドバイザー派遣事業

市町村や地域包括支援センターが開催する地域ケア会議等の運営について助言を行うため弁護士等の専門職を派遣した。また、生活支援体制整備や自立支援型地域ケア会議の運営等に関して課題を抱える市町村に対して、豊富な知識経験を有するアドバイザーを派遣した。

ア	地域ケア会議に関する専門職派遣	6市町村	9回	(7市町村	8回)
イ	生活支援体制、認知症ケア向上等に関するアドバイザー派遣	8市町村	12回	(4市町村	10回)
ウ	地域ケア個別会議に関するアドバイザー派遣	3市町村	10回	(2市町村	9回)

6 介護支援専門員の養成を行う事業（継続）

(1) 介護支援専門員実務研修受講試験（自主事業）

介護支援専門員となるためには、「介護支援専門員実務研修」の受講が義務付けられており、その受講者を決定するに当たり、必要な専門知識（介護保険制度、要介護認定等、居宅サービス計画等）を有していることを確認するための試験を実施した。

- ・ 実施時期：令和4年10月9日（日）
- ・ 受験者数：588人（700人）、合格者数：92人（141人）、合格率：15.6%（20.1%）

(2) 介護支援専門員実務研修・現任研修等実施事業（県補助事業及び自主事業）

① 介護支援専門員実務研修事業

介護支援専門員実務研修受講試験に合格した者を対象に研修を実施した。

- ・ 実施時期：1月～3月 88時間
- ・ 修了者数：1回 115人（119人）

② 介護支援専門員更新研修・再研修

実務未経験者で介護支援専門員証を更新する者及び介護支援専門員証を失効した後、再交付を希望する者を対象に研修を実施した。

- ・ 実施時期：5月～9月 54時間
- ・ 修了者数：2回 261人（109人）

③ 介護支援専門員専門研修事業（実務経験者の更新研修と同時開催）

介護支援専門員の専門性を高めるため、必要な専門知識、技能の研修を実施した。

ア 専門研修課程Ⅰ（同内容の更新研修を含む）

- ・ 実施時期： 5月～6月 56時間
- ・ 修了者数： 1回 126人（70人）

イ 専門研修課程Ⅱ（同内容の更新研修を含む）

- ・ 実施時期： 9月～12月 32時間
- ・ 修了者数： 4回 460人（284人）

④ 主任介護支援専門員研修事業

介護サービス提供者との連絡調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導などケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技術を修得するための研修を実施した。

- ・ 実施時期： 8月～12月 70時間
- ・ 修了者数： 2回 73人（84人）

⑤ 主任介護支援専門員更新研修

主任介護支援専門員の継続的な資質向上を図るための定期的な研修機会を確保し、主任介護支援専門員の能力の保持向上を図った。

- ・ 実施時期： 7月～8月 46時間
- ・ 修了者数： 2回 248人（163人）

7 介護サービス情報を公表する事業（継続、県委託事業）

介護保険法第115条の42に基づく指定情報公表センターとして、県が策定する計画に基づき、介護サービス情報の報告の受理に関する事務、介護サービス情報の公表に関する事務等を実施した。 情報公表実施件数 2,719件（1,911件）

8 結婚新生活支援連携事業（県委託事業）

結婚新生活支援事業による補助金交付を希望する新婚夫婦等を対象として、結婚、妊娠・出産、子育てに仕事との両立を含めた結婚後の将来のライフプランを構築していくために必要な知識・情報を提供するセミナーをオンライン形式で実施したほか、婚活前の人を対象とするセミナーを新たに開催した。

また、県内各地の企業や商工団体等を訪問し、従業員の結婚支援に前向きな企業等と連携して、出会いイベントやセミナー等を開催した。

(1) ライフプランセミナー（新婚夫婦対象）

①実施回数

12回（令和4年6月～令和5年3月（すべてオンライン開催））

②受講者数

254人（うち補助金申請に必要な「受講証」発行者数227人）

(2) 未婚者向けセミナー

①開催日時等

令和5年2月19日（日）14:00～15:30、（盛岡市・岩手教育会館）

②受講者数

18人（会場受講6人、オンライン受講12人）

(3) 結婚支援に係る企業・地域連携

①企業向けセミナー

- ・開催日時：令和5年2月3日（金）16:00～17:30（一関市大東町、企業内会議室）
- ・参加者数：27人（男性12人、女性15人）

②出会いイベント

- ・開催日時：令和5年2月26日（日）12:30～17:20（二戸市シビックセンター）
- ・参加者数：男性10人、女性7人（カップル成立数4組）

II 被災地支援事業（その他事業1）（継続、自主事業）

[被災高齢者等への支援や介護予防を行う事業]

健康・生きがいがづくり推進事業

災害公営住宅等への入居による生活環境の変化に伴う高齢者の心身の機能低下を防止するため、沿岸市町村等の主催する介護予防事業等の支援やコミュニティ形成支援を行った。

宮古市、山田町、野田村及び普代村の4市町村における介護予防教室等への支援を行った。

- ・宮古市 8回 88人
- ・山田町 5回 65人（2回 24人）
- ・普代村 2回 49人（3回 46人）
- ・野田村 1回 29人

III “いきいき岩手”結婚サポートセンター運営事業（その他事業2）（継続、県・市町村等の負担事業）

県内の結婚を望む人を支援するため、岩手県、県内全市町村、関係6団体と連携して、“いきいき岩手”結婚サポートセンター「i-サポ」の運営を行い、盛岡、宮古及び奥州の3センター体制で、マッチングシステム等による結婚支援事業を行った。

1 マッチング事業の実施結果 ※()は設立時からの累計数

- 会員登録者数 778人 (3,367人)
- お見合い件数 381件 (2,797件)
- 交際件数 202件 (1,427件)
- 成婚数 12組 (120組)
- 成婚者総数 会員同士の成婚 24 (240)人、会員以外との成婚 13 (96)人、
合計 336人

2 出張サービス「お出かけi-サポ」の実施結果

- 釜石市 24回 利用件数 46件 (47件)
 - 久慈市 24回 利用件数 28件 (42件)
 - 二戸市 23回 利用件数 32件 (30件)
 - 一関市 24回 利用件数 49件 (22件)
- ⇒二戸会場は、IGR運休による開催中止(1回)あり
- このほか、大船渡市、岩泉町、花巻市、八幡平市、金ケ崎町、北上市、遠野市及び紫波町からの要請に基づき、延べ12回の「臨時お出かけi-サポ」を実施し、新たに12人の会員登録があった。

3 オンラインお見合い等による会員の利便性の向上

お見合いを行う会員が、男女両方とも実施を希望した場合に、オンラインお見合いを実施した。

また、オンラインによるお見合い実施前の会員への指導(服装や話題の選び方等)を行うなど、オンラインを活用した会員への支援の拡充を図った。

4 情報発信

(1) ホームページ及びツイッターの運営

- メールマガジン会員(544人)に対し、i-サポ出会い応援団(66団体)が行う婚活イベント情報等の発信を行った。
- またホームページやツイッターを活用し、婚活イベント情報のほか、街の話題など、お見合いや交際の参考として活用可能な情報の発信に努めた。

(2) 広報、広告等の取組

- いわてグラフ（県の広報紙）令和4年12月号への掲載
- 岩手日報への広告掲載の実施（令和5年2月～3月）
- テレビCM（テレビ岩手）・ラジオCM（FM岩手）の実施（令和5年2月～3月）
- 23市町村の広報紙による広報の実施（通年）

5 地域連携事業（県・市町村・主要団体との連携）

- 県北広域振興局主催の「結婚支援団体連絡協議会」において、参加市町村・商工会等にi-サポの取組状況を説明し、情報共有を図った。
- カシオペア連邦議会議員研修会において、二戸地区の市町村議会議員に、県内の結婚をめぐる状況や、i-サポの結婚支援の取組等の説明を行った。